

福祉生活病院常任委員会資料

(令和7年3月19日)

[件 名]

- 令和6年度の自然共生サイトの認定状況について

(自然共生課)・・・2

生活環境部

令和6年度の自然共生サイトの認定状況について

令和7年3月19日

自然共生課

民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域を環境省が認定する「自然共生サイト」について、今年度の本県内での認定状況について報告する。

(1) 県内認定サイトの概要

今年度、本県からは前期で1件(伯耆町)、後期で2件(日野町、八頭町)の計3件が認定された。

①大山ロイヤルリゾート 大成池周辺区域 **前期認定**

申請者	大和ハウス工業(株)		
位置	鳥取県西伯郡伯耆町	面積	2.34ha
サイト概要	大和ハウス工業(株)が造成・管理するロイヤルシティ大山リゾート内にある大成池と隣接する公園。大成池は大山の伏流水を水源とするため池で、絶滅危惧種であるコガタノゲンゴロウ等の様々な生物が生息している。		
活動内容	・住民による環境活動として外来植物であるオオキンケイギクの駆除を実施するとともに、アサギマダラ(蝶)の休息地として吸蜜草であるフジバカマを育成している。		

②鵜の池・ヨシ池 **後期認定**

申請者	日野町		
位置	日野郡日野町	面積	28.9ha
サイト概要	日野町北部の標高400mの高原にある池。ジュンサイ、オトコゼリ等の希少植物や、ハッチョウトンボ、クロゲンゴロウ等の希少昆虫、その他オシドリ、キビタキ等の様々な野生動物が生息している。		
活動内容	・1983年に鵜の池キャンプ場を開設。無料キャンプ場として活用するとともに、希少な動植物の生息・生育の場であることを活かして、町内の児童のキノコ鑑定会や遠足、青年団のレクリエーション等に活用されている。 ・湖畔の森林では、2023年に町とミヨシ産業(株)が「とっとり共生の森」森林保全・管理協定を締結し、森林保全活動を行っている。		

③八東ふるりの森 **後期認定**

申請者	(株)エルボスケ		
位置	八頭郡八頭町	面積	10.56ha
サイト概要	八東ふるりの森は、旧八東町時代の開設された町営キャンプ場。ブナ林と溪流に囲まれた園内には豊かな自然があり、毎年5月～8月にかけてはコノハズク、オオコノハズク、アカショウビン等の希少な鳥類の繁殖地となっている。		
活動内容	・希少な野鳥の生息場所として、バードウォッチング、自然体験の場として、地域の観光促進に大きく寄与している。 ・公立鳥取環境大学と八頭町が締結したSDGsの推進に関する連携協定により、八東ふるりの森を拠点に、学生向け環境教育、星空観測等のアクティビティ開発や八頭町農産物の食味分析等、様々な取組を実施。		

(2) 令和6年度認定の概要

前期：全国73件(うち中国地方7件(鳥取県1件、岡山県1件、広島県5件))

後期：全国75件(うち中国地方7件(鳥取県2件、岡山県2件、広島県1件、山口県2件))

(3) 県内の認定状況

6件、181ha(鳥取県八頭船岡環境保全エリア、南部町の里地里山ビオトープ、県立大山オオタカの森、ロイヤルシティ大山リゾート大成池周辺区域、八東ふるりの森、鵜の池・ヨシ池)

(参考) 自然共生サイトについて

○自然共生サイトは、30by30(サティアーバイサティアー)目標の達成を目指し、民間の力を結集すべく環境省が令和5年4月からスタートさせた制度。

○自然公園などの法令による保護地域内外を問わず、民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域を「自然共生サイト」として環境省が認定するもの。

<認定要件>

- ・希少な野生動植物が生息生育する場所、里地里山や社叢等で多様な生物の棲家となっている場所など生物多様性の価値が高い場所であること。
- ・申請区域で行われる活動が、長期的な生物多様性の価値の維持に貢献するものであること、また、生物の生息状況等についてのモニタリングが継続的に実施されること。